

## No. 2 「保存と耐震改修」

場：新宿校舎3階アーバンテックホール 273名収容可  
所 新宿区西新宿1-24-4、新宿駅西口より徒歩5分

工学院大学工学部建築系学科は、2011年4月から工学院大学建築学部になります。

### 内容と予定時間 10月8日(金)

- 16:40 受付開始
- 17:00 司会主旨説明: 建築学科准教授・近藤龍哉
- 17:05 文化財建造物の保存修理と耐震補強  
後藤治(工学院大学建築系学科教授)
- 17:35 木造建築物(唐招提寺金堂大改修)  
長瀬 正(竹中工務店)
- 18:40 前半の質疑・討論
  
- 18:50-19:00 休憩
  
- 19:00 鉄筋コンクリート造建物の耐震改修  
廣澤雅也(工学院大学名誉教授)
- 19:50 質疑・討論
- 20:00 終了



### 講演概要

今回のテーマは「保存と修復」です。日本には築数百年から1000年を超える大規模木造建築物が多数あります。寺社城等です。1000年建ち続け建物を、更に1000年保存する技術について、2名の講師が講演します。1000年前の建築技術者(宮大工)が考えた技術を現代の技術者が理解して、歴史的価値を損なうことなく修復して未来に残す。歴史ロマンの1ページに係わる、夢あふれる仕事についての楽しい講演です。

もう一つは「直面する危険の回避」です。鉄筋コンクリート造や鉄骨造は新しい素材を用いた建築です。よって、次々進歩しています。設計法(設計の考え方)が1981年を境に大きく変わりました。しかし、旧設計法で建てられた築30年を超える建物は多数あります。これらの建物を、社会ストックの活用の見地からも、現在の設計法で診たとき安全か否かを診断する必要があります。また、危険と診断された時には補強が必要です。鉄筋コンクリート造建物に特化して、旧建物はどの様な危険が有るか、旧建物をどの様に診断して、どの様に補強するのかについての講演です。



### 参加者の皆様へ

- ・聴講料は無料で、座席は273名分あります。
- ・先着順に前方座席から詰めて、着席して下さい。
- ・本公開講座は12月17日まで全7回の連続講座です。
- ・次回は10月22日(金)17:00~を予定しています。
- ・第2回はインターネットライブ放送も予定しています
- ・第1回の講座の録画も公開されています。
- ・詳細案内は、下記ご参照下さい。

<http://www.ns.kogakuin.ac.jp/~wd1041/>

後藤 治:文化庁を退官後、現在建築学科主任教授。長年、歴史的建物の調査・保存修復の研究に携わる。

長瀬 正:竹中工務店大阪本店設計部。11年間に及ぶ唐招提寺金堂の大改修が2009年11月完了し、2010年日本建築学会賞(技術)を受賞。

廣澤雅也:建設省建築研究所を退官後、本学教授。現名誉教授。多数の機関で耐震診断評定委員会委員長を務める。